

ルームアドバイザー（RA）連絡会

1. 開会と新体制の紹介

長澤会長 挨拶・方針説明

「今年度より、これまでの限られた人数で運営を行う『部長会』という枠組みを廃止し、より多くの方に門戸を開いて多様な議論を深めるための『運営委員会』体制へと移行いたしました。これにより、同窓会運営の迅速化と、学生の皆様への支援体制の強化を両立させてまいります。

新入生が卒業後にどれだけ本会に入会してくれるかは、ひとえに皆様の深い理解と力強いサポートにかかっています。大学側からも、信頼できるRAの推薦を強く依頼されており、皆様の存在なくして当会の発展はありません。今年度も何卒よろしくお願いいたします」

2. 運営委員会メンバーの紹介と活動内容

斉藤（パソコン研究会 担当）

- **現状:** 卒業生約86名を受け入れ、PC学科からは64名が所属する規模に成長。
- **課題:** 現役生（在学生）とのコミュニケーションをどのように取るかが課題となっている。

黒田（会計部・八葉会 担当）

- **現状:** 園芸同好会である「八葉会」の担当と、会計部を兼任。
- **活動・提案:** 卒業する際の選択肢・趣味の一つとして、園芸の楽しさや魅力をアピールしていきたい。

瀬戸山（広報部 担当）

- **自己紹介:** 18期PC学科出身。在学中はRAの皆様に変にお世話になった。
- **活動・抱負:** PC研、麻雀同好会にも籍を置いている。「楽しい会」を目指して情報発信をしていきたい。

坂本（現役学生・運営サポート）

- **自己紹介:** 部長が体調を崩してしまったため、急遽代理として出席。
- **立場・現状:** 現役の学生として在籍中。現役生の目線を運営委員会に反映させるサポートを行っている。

井上克子（文化部 担当）

- **活動内容:** 芸能大会、囲碁・将棋大会などの各種文化行事の企画・運営を担当。
- **目標:** 現役生の参加率を高め、活気ある大会にするために、皆様からも強力にアピールしてほしい。

伊藤（総務部 担当）

- **心境の変化:** 活動を続ける中で、RAの皆様との日常的なコミュニケーション強化こそが同窓会存続の鍵であると痛感している。このような対話の場を今後も継続して設けていきたい。

3. ルームアドバイザー（RA）が直面する現場の実態

① ホームルーム（HR）時間の絶対的な不足

- **実態:** カリキュラム上、公式に確保されているHRの時間は年間でわずか2時間（1日分相当）のみ。
- **現場の工夫と苦悩:**
 - 実際には、授業開始前の10～15分や、短い休み時間を削って必要な連絡を伝えている。
 - 講師が講義や雑談を続けてしまい、RAが連絡事項を伝えるための時間を確保するのに苦労している。

② 学生の多様化と「リピーター問題」

- **実態:** 近年、新入生・在学生の半数以上が、過去に市民大学等の受講を経験している。

- **生じている問題:**

- 経験者であるため、同窓会や大学の仕組みを理解している（と思い込んでいる）ケースが多い。
- RAからのアドバイスやサポートを「余計なお節介」といった心理的・心理的反発を招くケースもある。

③ 個人情報保護とプライバシーの壁

- **実態:**「顔写真付き名簿」の作成にはプライバシーの観点から強い拒否反応を示す学生が増加している。

④ 写真・アルバム作成をめぐるトラブル

- **具体例（アンデルセン公園での事例）:**

- 学外活動（アンデルセン公園など）での集合写真撮影時、撮影のために「一時的にマスクを外してほしい」と促したところ、後日「無理やりマスクを外させられた」と強いクレームに発展。
- その結果、卒業アルバム用の該当者の写真を一度「黒塗り」にして対処したが、後になってから「やっぱり自分用に手元に残すアルバムだけは、写真を元通りに直してほしい」と要求される。

⑤ 役員（学級長など）決めの難航

- **実態:**学級長などの役員選出は、譲り合いという名の押し付け合いや、クジ引きになりがちである。
- **RAの負担:**決まった人が辞退を申し出ることも多く、RAが粘り強く説得を重ねて、ようやく決まる。

4. 同窓会の魅力向上と将来への戦略

① 「開かれた会」への大転換

- **規約改正の検討:**これまでの「いきいき学部」の卒業生だけでなく、新たに「街づくり学部」の卒業生もスムーズに同窓会に入会・合流できるよう、規約の改正を目指す。
- **対象の拡大:**会員本人だけでなく、その家族や友人、地域住民も参加できるような「一般開放型（オープン）」のイベントを試験的に増やし、会の認知度と好感度を高める。

② 行政（自治体）との複雑な管轄調整

- **補助金と管轄の課題:**
 - 現在は高齢者福祉課からの補助金を維持しているが、参加対象者を広げていくことで、教育委員会系の「社会教育課」の管轄領域に踏み込むことになる。
 - 当会の活動目的を地域全体に広げるための折衝について、行政側と具体的な交渉を進めている。

③ 新しい「キラーコンテンツ（企画・ネタ）」の投入

- **実績:**
 - **スマホ講習会:**4年間で通算200回実施。同窓会の看板活動。
 - **JAXA見学旅行:**知的好奇心を刺激する企画として好評を博した。
 - **歌声同好会（和音）:**世代を越えた音楽を通じた交流の場を提供。
- **今後の新規企画案:**
 - 「eスポーツ」、「AI活用講座」、「地域食べ歩きツアー」など、在校生や新入生が直感的に「面白そう」「参加してみたい」と親近感を持てるような新規企画を精力的に立ち上げる。
 - **機動力の強化:**アイデアが出て1ヶ月程度で形にする、小回りのきく企画運営体制を構築する。

5. その他・今後の予定

- **7月15日: 学級長連絡会（きららホール）**
 - 同窓会会長、運営委員が出席し、新学期クラスへの同窓会加入プロモーションと理念説明を行う。
- **9月頃: 第2回 RA連絡会**
 - 「フリートーク形式」として開催予定。悩みを相談し合い、ノウハウを共有できる時間とする。
- **1月6日: 在校生向け説明会**
 - 学科別説明会（各学科の特色に合わせたアピール）を今年度は全学科へと横展開して実施する予定。